

情報
セキュリティ

人、施設、情報システムの 各視点からセキュリティを向上

企業機密の漏えいやサイバー攻撃など、情報セキュリティへの脅威に対してより適切な施策を講じる必要性が高まっています。ムラタでは、グループ全体の対応方針として「情報セキュリティ基本方針」を制定し、具体的な情報の管理方法を「情報セキュリティ管理規定」に定め、情報セキュリティの維持向上に取り組んでいます。取り組みの一例として、全社の情報セキュリティ施策の継続的な改善をすすめるためにリスク管理委員会のなかに「情報セキュリティ分科会」を組織し、人、施設、情報システムの各視点から情報セキュリティに関し、PDCAを回し整備をすすめています。

また、全従業員に「情報セキュリティガイドブック」を配付し、全社的な定期的教育、入社時や階層ごとの教育、研究開発、営業、購買といった職能ごとの教育を実施することで、情報セキュリティに関する従業員一人ひとりの意識強化をはかっています。

写真／野洲事業所でのワークショップの様子



贈収賄防止

よき企業人として、社会模範を深く内面化

ムラタでは、ムラタ及びムラタ社員が活動する際の行動規範として、「企業倫理規範・行動指針」を定め、社員に対して社会的ルールに敏感になって、よき企業人として社会への責任を果たすことを求めています。2014年には、国内外を問わず、法令違反となる贈収賄行為を未然に防止することを目的に含めた「カルテル及び贈収賄防止に関するベーシックポリシー」を作成しました。

そこでは、公務員または民間企業であるかを問わず、法令及び商慣習に照らして明白且つ確実に許される場合を除き、金銭など、一切の利益の便宜や申し出をしないこと、また、反対に何らかの便宜を受けたり、要求をしないことを定めています。また、国内外の事業所向けに研修会を実施したり、ヒアリングなどもおこなうことで、贈収賄防止に関する教育と啓蒙、未然防止に努めております。

写真／本社でのセミナーの様子

